

STNnext™ Quick Start

STNnext インターフェース

The screenshot shows the STNnext web interface. At the top left is the STNnext logo (3). Below it is a navigation bar with 'Transcript ON', '2017_0029_Transcript', 'Pause', and 'Start New'. On the right, there are 'My Files' and 'User Name' links (1, 2). Below the navigation bar are tabs for 'History', 'CAS Lexicon', and 'Databases' (4). The main area is split into two panes. The left pane shows a list of transcripts under 'File CAPLUS', with entries like '3 ROSEAS', '5843 ROSEAS', etc. The right pane shows a 'Session' history with entries like 'Entered HOME' and 'Entered CAPLUS'. At the bottom, there is a command input area with a 'Submit' button (5, 6) and a 'Draw' button (7). The command input area contains the text 'enter command'.

1 My Files から下記にアクセスできます:

- **Alerts** – 設定しているアラートの確認や編集, 配信された回答の確認ができます。
- **Transcripts** – セッション記録は 90 日間自動保存され, ダウンロード (pdf, rtf, txt, zip 形式) も可能です。
- **Structures** – 検索に使用した構造質問式は str 形式で自動保存されます。
- **Scripts** – スクリプトの作成やインポートができます。

2 ユーザー設定:

- **Settings** – オートサジェスト機能の ON/OFF や, 略語/複数形/綴り違いを自動で含める設定などができます。
- **Help** – STNnext のヘルプにアクセスできます。
- **Log Out** – セッションの切断. コマンド入力 (LOG Y) も可能です。
- **Logout Hold** – セッションの中断. コマンド入力 (LOG H) も可能です。

3 自動発生する transcript 名が表示されます。カーソルを近づけると下記メニューが表示されます:

- **ペンシルアイコン** – transcript 名を変更
- **Pause/ON ボタン** – transcript 保存の中止/再開
- **ダウンロードアイコン** – transcript のダウンロード
- **Start New ボタン** – transcript を新規作成

4 3つのタブがあります:

- **History** タブで, セッション中の履歴を確認できます。ワンクリックで回答集合 (L#) の自動解析が可能です。
- **CAS Lexicon** タブで, 検索式にタームを追加することができます。パネルの下部のポップアップボックスで AND, OR, NOT 演算子を指定できます。
- **Databases** タブで, データベースやクラスターを選択できます。星印をクリックすると, お気に入りのリストを作成できます。インフォメーションアイコンから, データベースやクラスターの説明を見ることができます。

5 矢印プロンプトの後にコマンドを入力して検索を行います。オートサジェスト機能が働きます。(最大 292 文字) – もしくは – 検索補助ウィザードを利用します。

- **AU** – 著者名, 25 タームの EXPAND
- **SU** – 主題, 検索タームオプションが 5 つあります
- **OR** – 機関名, ICS フィールドの検索

Command Window でコマンドファイルを呼び出して検索に利用することができます。

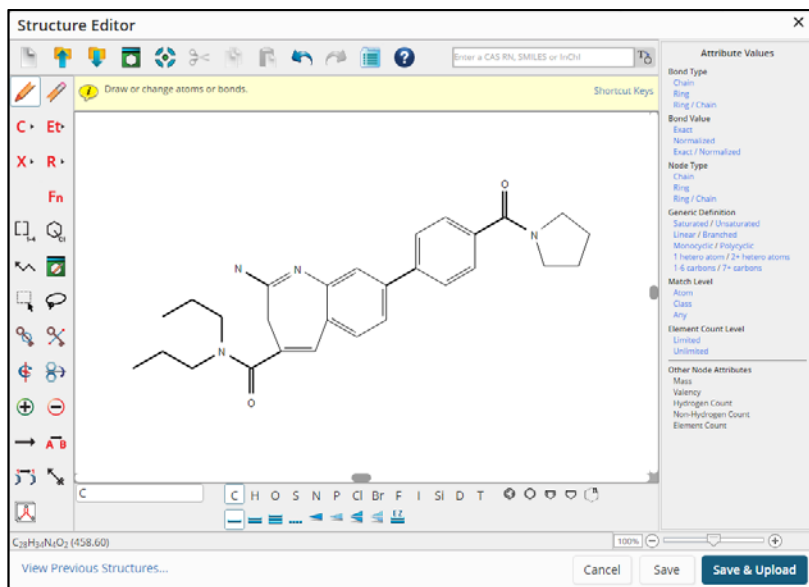
6 Submit ボタンで, コマンドを実行します。(もしくは <Enter> キーをクリック)

7 Draw ボタンで, 構造作図画面を起動します。ファイル (mol, str, cxf 形式) のインポートが可能です。Script ボタンで, アップロードするスクリプトを選択します。

STNext™ Quick Start

STNext の特長:

- ❖ ブラウザベースなので、ソフトウェアやブラウザ plug-in のインストール不要。
- ❖ オートサジェスト機能 – CA Lexicon 由来の動的なサジェスチョンが働きます。データベースの指定 (FILE コマンド) や表示形式や表示フィールドの指定 (Display コマンド) にも対応。
- ❖ History ウィザードには 3 つのタブ (History / CAS Lexicon / Databases) があり、検索やデータ操作を簡単に行えます。
- ❖ 表示が強化され、検索結果をより見やすい形式で出力可能に。
- ❖ Transcript (セッション記録) は 90 日間自動保存。
- ❖ CAS Structure Editor (Non-Java) を搭載。検索に使用した構造質問式が自動保存されます。



ブラウザ上の機能を利用した Tips :

- キーボードの上矢印↑/下矢印↓キーでファイル名や自動補完 (オートサジェスト) リスト中のタームを選択できます。
- コマンド入力ボックス上で右クリックするとスペルチェックを行えます。
- **Ctrl+F** キーでブラウザ中のタームを検索できます。
- **ズーム機能 (Ctrl+ : 拡大, Ctrl- : 縮小, Ctrl+0 : リセット)**
- 検索結果の表示後、表示部分をクリックし **Page Up/Page Down** もしくは上矢印 ↑/下矢印 ↓キーを利用すると素早く快適にスクロールできます。
- **Tab** キーで STNext インターフェース内を移動できます。